

令和5年度
事業計画書



公益財団法人

大泉町スポーツ文化振興事業団

令和5年度 公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団 事業計画

■ 経営方針

令和5年度は第5期指定管理期間の4年目となりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で指定期間の5年間で描いた計画は達成することが出来ませんでした。コロナ禍の3年間で健康・スポーツ活動と文化・芸術活動は大きな制約を受けましたが、当事業団の存在する意義を見直し、町民の健康や暮らしに潤いを与えるべく役割を再確認できる機会となりました。

迎える新たな年度は、大泉町が掲げる将来都市像に参画しつつ、第5期指定管理基本コンセプトで掲げた、スポーツ施設では「スポーツで健康的に心豊かに活力のあるまちづくり」、また、洋泉興業大泉町文化むらでは「すべての町民に芸術・文化をお届けしよう」に立ち返り、様々な変化に柔軟に対応しながら、施設に活気を取り戻せるような振興事業及び活動拠点の施設運営を行ってまいります。

経営面においては、コロナ禍により通常時の収入を見込むことは依然厳しい状況です。また、エネルギー問題など新たな経済・社会的課題を抱えておりますが、施設利用料や事業収入などの収入増を目指し、また、助成金など外部資金の活用、状況に合わせたコストの削減を図りながら、この難局を乗り越えてまいります。

当事業団は11月に公益法人として設立40周年を迎えます。設立趣意に則り、また、サステイナブルで時代の潮流に即した公益法人や指定管理者の姿を目指しながら、常に一歩ずつ前進してまいります。

1 4つの重点施策

(1) スポーツ

①スポーツ施設の「安心・安全」を守る

- ・町民の皆さまが安心して施設を利用できるように、老朽化した施設の維持管理、予防保全
- ・大泉町指定緊急避難場所、指定避難場所としての役割を全うする

②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・幼児期・学童期の運動、スポーツの推進
- ・子どもの体力向上に向けたスポーツ機会の充実
- ・成人のスポーツ参加機会の拡充
- ・高齢者の体力づくりやシニアパワーの発揮の場の提供

③スポーツによる地域活性化

- ・人を重視（スポーツをする人・みる人・ささえる《育てる》人）したスポーツ振興
- ・企業、関係団体との連携、協働

④総合型地域スポーツクラブ設置に向けての取り組み

- ・子どもから高齢者までの町民が集い、興味・関心・体力・技術に応じて複数の種目を楽しむことのできるスポーツクラブ設置に向けた取り組み

(2) 文化

- ①「芸術・文化の発信」拠点形成
 - ・質の高い芸術文化を発信し「感動の場」、「創造の場」、「協働・多文化共生の場」の推進
- ②「次世代にバトンをつなぐ」育成強化
 - ・子どもの心豊かな成長のため、教育振興を念頭においた育成強化に努め、「みんなで創る、個性輝き、希望あふれるまち」につながる人材育成の推進
- ③「町民が集い、愛される施設に」
 - ・お客さまを「笑顔」でお出迎えし心の通った接客、「安らぎ」や「癒し」の提供
 - ・「ふれあいの場」として、町民の方々との絆を深められるような施設づくり
 - ・大泉町指定緊急避難場所、指定避難場所としての役割を全うする
- ④「シニアパワー」の発揮の場の提供
 - ・健康寿命延伸を見据えたシニア世代を対象にした事業の提供
 - ・シニア世代の方々の知識や能力を発揮できる仕組みづくりや場の提供

2 経営の強化

(1) 人材マネジメント

経営基盤づくりの上で人材育成は最も大切な要素だと考えます。大泉町のスポーツ、芸術・文化振興を担う専門組織として、町民の皆さまにご満足して、安心してご利用頂くために職員一人ひとりが責任を持って業務に携えるように取り組んでおります。また、効果的な学習方法を取り入れ、学んだ知識をより深めるための措置もとってまいります。

(2) 財務管理

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度、令和3年度でしたが、令和4年度はエネルギー危機など新たな課題が加わり、過去に例のない厳しい財政状況になっております。今後はコロナ禍や高齢化による施設使用料、事業収入の減少に歯止めをかけ、ポストコロナに繋げる取り組みを進めてまいります。また、国や民間の助成金の活用や、現状に即したコストの削減を図りながら組織全体で対応してまいります。

(3) 施設運営

町民体育館を中心としたスポーツ施設では「スポーツでつなぐ活動拠点の運営」として「親しみ」を感じられ「気持ちの良い」接遇、「公平でやさしい」ユニバーサルサービスの提供、「思いやり」が感じられる利便性の向上。洋泉興業大泉町文化むらでは『コミュニティと創造性を育む「文化むら」の運営』として「温もり」を感じられる「感じの良い」接遇、「公平でやさしい」ユニバーサルサービスの提供と「思いやり」が感じられる利便性の向上、利用者のニーズを捉え、より高いレベルへ導く文化活動の支援。上記の第5期指定管理申請書に掲げたスローガンを念頭に、施設に活気を取り戻すような取り組みを進めてまいります。

共通

- 今年度の具体的な取り組み： SDGs の推進

SDGs ～私たち事業団にできること～



スポーツ

- スポーツ関係の特記事項

取 組 み 内 容
スポーツ・健康づくりのきっかけとなる取り組みを行い、コロナにより減少してしまった利用の回復を目指します。
「利用者の安全」を最優先に考え、日々の点検をはじめ施設の維持管理を徹底し、町民の皆様が、安心して気持ちよく利用できるよう努めます。

- 事業概要

(1) スポーツの普及及び推進【公益目的事業】

ア 健康増進支援事業

気軽に楽しめるスポーツを通じ、町民の皆さまの「こころ」と「からだ」の健康増進を目的とした事業。大泉町のアンケート調査結果でも高い割合を占める「子どもから高齢者までスポーツを楽しむまち」の実現を目指し、幼少期からスポーツをする機会の提供、高齢者の健康寿命延伸支援など、幅広い方々のためのスポーツを通じた健康づくり・コミュニティづくりの確保に努めます。

【自主事業（指定管理事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	① 4月～ ② 6月～ ③ 9月～ ④ 12月～	骨盤リンパストレッチ教室①～④ (各10回シリーズ)	50名～ 60名	ストレッチ体操により身体の柔軟性を向上させながら、骨盤と肩甲骨周りを中心に、わき下や足の付け根のリンパの流れを改善し身体を「スッキリ」させる。「疲れやすい、脚がだるい、むくみやすい」などの解消法として女性を中心に人気の教室。
2	未定	交流大会	なし	町内チーム同士の交流をはかり、国籍を問わず練習試合や交流戦等を行い、その後のスポーツ活動の幅を広げるきっかけとする。
3	①6月～ ②9月～	筋膜リリース&ヨガ教室①～② (月4回程)	20名	肩こりや腰痛を抱える方など、筋膜を正常に戻す事で正しく筋肉が動くように体をほぐした後、ヨガも行い相乗効果でリラックスしながら、健康を保つ事を目的とする。
4	8月～9月	しなやかな身体づくり教室	15名	ピラティスという運動を通して、自身が一番機能的に動けるように、骨盤・脊柱を本来の正しいポジションにセットする目的。心と身体が調和された動きを習得することができるエクササイズです。定期の運動教室の枠で大泉町と共催予定。
5	9月～11月	もっと速く走れる！走り方教室 ー持久走大会に向けてー 協力：SUBARU陸上競技部	50名	SUBARU陸上競技部の指導のもと、小学生を対象に運動会や持久走大会などを目指して、走り方を学ぶ。

【振興事業（補助金事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
6	4月～3月 (年間10回)	ウォーキング教室	20名	スポーツ庁の調査で、コロナの影響により1日3,000歩未満しか歩かない人が全体の約3割に急増したことから、体力低下を防ぐことを目的とし、正しいウォーキングの仕方や、楽しめる工夫等を紹介。
7	5月～10月	リラクゼーションヨガ教室①～② (月4回程)	20名	ストレスによって引き起こされる症状の緩和が期待されるアロマを取り入れたヨガで、ヨガとアロマの相乗効果でリラックスしながら、健康を保つ事を目的とする。
8	9月	ダンス教室	30名	子どもを対象に、運動が苦手でもダンスの楽しさに触れながら、運動能力の向上を目指す。
9	10月	金山ハイキング	20名	野外活動を通じて、自然にふれ、楽しく歩いて、ウォーキングのみでは得られない達成感を味わいながら、いつまでも健康な心身を保つことを目標とする。

イ スポーツ普及事業

国のスポーツ振興基本計画で課題として挙げられている「スポーツ振興を通じた子どもの体力向上」や「生涯スポーツ社会におけるスポーツ環境整備の充実」に着目し、町民の皆さまのライフステージに応じたスポーツ機会として、子供たちが、夢を持ってスポーツに取り組めるキッズ・夢プロジェクト事業の展開や、年齢を問わず誰でも・いつでも参加できる、スポーツができる環境づくりの確保、生涯スポーツの推進に努めます。

【自主事業（指定管理事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	未定	《キッズ夢プロジェクト》 大泉町バレーボール教室 協力：群馬銀行グリーンウイングス	6チーム	群馬銀行バレー部指導による、バレーボール教室。子どもを対象とした教室の場合は《キッズ夢プロジェクト》としての開催。
2	未定	救急救命講習会	20名	自動体外式除細動器（AED）を使用した救命処置の講習。
3	12月～1月	《キッズ夢プロジェクト》 第21回大泉町少年野球教室 協力：SUBARU硬式野球部	2チーム	SUBARU硬式野球部の指導による、町民少年野球チームを対象とした野球クリニック。
4	随時	スポーツ体験事業	3種目	各スポーツ競技を体験してもらい、チームや団体へ加入しやすいきっかけづくりをする。

【振興事業（補助金事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
5	3月～4月	大泉町少年野球大会	なし	本大会をとおして、技術・体力の向上並びにスポーツに対する理解を深め、あわせて健全な青少年の育成を図ることを目的とする。
6	6月～7月	ボッチャ教室	20名	パラリンピック正式種目である「ボッチャ」は、老若男女・障がいのあるなしに関わらず、すべての人が参加できる為、大泉町でも交流を深めながら、体験してもらう事を目的とする。
7	9月	《ニュースポーツ普及プロジェクト》 第27回大泉町民スポーツ・レクリエーション祭 共催：大泉町教育委員会・大泉町体育協会	なし	第9回全国スポーツ・レクリエーション祭ソフトバレー大会を記念とした軽スポーツ大会。町民の交流を図るとともに、生涯スポーツの定着を目的とする。
8	12月	第47回大泉町マラソン大会 共催：大泉町・大泉町体育協会	なし	町体育協会との共催。1.5km/3km/5kmの各コースを年齢性別を分けて実施。

ウ スポーツ観戦事業

文部科学省のスポーツ立国戦略の基本的な考えに則り、「スポーツを観る人」にスポットを当て、トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦など、普段スポーツを観て楽しむ事が無い方や観に行けない方にも、競技が行われている会場に出向き観戦する機会を提供したり、町内施設で開催する事で身近に感動の場を提供し、人々が生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境を提供し、スポーツの振興に繋がります。

【振興事業（補助金事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	11月	スポーツ観戦ツアー (大泉町関連企業運動部出場時)	未定	地元企業の実業団スポーツチームを、直接会場に行って応援する機会の提供をし、町全体で盛り上げる事を目的とする。

エ その他事業

【事業団スポーツ事業（事業団支出事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	7月	第35回群馬県市町村対抗ゴルフ選手権 大泉町予選会	なし	競技ゴルフの底辺拡大を図るため、予選会で3位以内の方を上毛新聞主催県市町村対抗ゴルフ選手権大会の大泉代表選手候補として推薦する。

(2) スポーツの情報等の収集及び提供【公益目的事業】

ア 広報誌「フレッシュおおいずみ」の発行

【振興事業（補助金事業）】

地域スポーツの活性化を目的とし、大会結果の掲載や大会の告知等を行う広報紙「フレッシュおおいずみ(町内全世帯及び関係機関、団体に配布)」を隔月刊（奇数月発行）にて発行します。

幅広い世代の方にご覧いただけるよう、教室案内のみではなく、利用者の声や各種大会結果等も掲載します。

ホームページやSNSとの連携強化により、現代の情報環境に適した情報発信システムの効果的利用と、計画的な情報掲載に努めます。

- 発行部数：町内全世帯及び関係機関、団体に配布＝16,500部／隔月



イ ホームページの運営

【指定管理事業】

前回日本で開催され、大変な盛り上がりを見せたラグビーワールドカップが9月にフランスにて開催されます。関連情報を前回に引き続きホームページやツイッターを活用し発信します。

また、大泉町トップアスリートの紹介や大泉町関連企業のスポーツチーム情報、各種スポーツ教室やイベント案内、施設貸出に関する情報の提供などの取り組みも継続して行い、スポーツの盛り上がりや利用促進につながるよう努めます。

- 事業団ホームページURL = <https://www.bunkamura.or.jp/>



(3) スポーツ活動の支援【公益目的事業】

ア 振興発展のための後援事業

【振興事業（補助金事業）】

地域のスポーツ大会や教室の後援を行い、優勝メダルの提供や大会等の受付業務の代行、告知などを行います。

イ 大泉町・地域スポーツ大会等協力

地域スポーツ大会等の開催準備、実施協力を行います。

NO	期 日	内 容
1	6月	地域公民館スローピッチ・ソフトバレー大会
2	6月	高齢者・身障者スポーツ大会
3	7月	河川清掃
4	7月	大泉まつり
5	10月	町民体育祭
6	12月	スポーツ少年団交流大会
その他		秋季検閲、ポンプ操法、プール利用券配布、 体育協会主催事業 等

(4) スポーツ団体の助成及び育成【公益目的事業】

ア トップアスリート支援指定

【振興事業（補助金事業）】

大泉町トップアスリート支援指定基準により助成金を支出し、大泉町出身の選手の輩出及び、町を挙げての支援によるオリンピックなどの国際大会の盛り上がりや町の賑わいの創出を図ります。

イ スポーツ団体育成・強化指定

【振興事業（補助金事業）】

スポーツ団体育成指定基準により助成金を支出し、スポーツの振興、選手の育成に積極的に取り組み、向上・発展に貢献できる団体を育成します。また、スポーツ団体指定基準により助成金を支出し、スポーツの向上・発展に貢献したと認められる団体の更なる強化を図ります。

ウ 大会等出場援助

【振興事業（補助金事業）】

大会等出場援助基準により、大会に出場する個人・団体に助成金を支出し、経費負担の軽減を図ります。

(5) スポーツ活動拠点の運営【公益目的事業】

ア 概要及び具体的な取り組み等

【指定管理事業】

町有スポーツ施設指定管理等事業として、大泉町有料公園施設（運動施設）の管理業務（町民体育館、ワカキヤ大泉町民野球場、ワカキヤいずみサッカー場、ゲートボール場、南公園、御正作公園、スバル運動公園）と大泉町社会体育施設の管理業務（西体育館、とね運動場）を行い、また学校体育施設及び大泉町地域交流センターの一般開放に関する施設の貸出し及び照明使用料の収納事務を行います。

● 施設のサービス・魅力向上に向けた改善

- ・施設利用日誌、窓口対応等で利用者から要望や意見を的確に捉え、業務の改善・利便性の向上を図ります。
- ・全ての利用者に満足して頂けるよう、様々な国や地域の方でも利用しやすくなるような施設を目指します。

● 安全安心な管理運営

- ・施設の日常点検の他、重要点検日を設け問題個所の発見、補修等を行います。
- ・誰もが安全、安心に施設利用ができるような管理運営を行い、万が一の事態に備え訓練等で利用危機管理対応能力の向上に努めます。

文 化

■ 文化関係の特記事項

取 り 組 み 内 容
コロナ禍の収束を前提に、特に参加型事業を中心とした各種事業の通常スタイルでの再開に取り組み、落ち込んだ参加者数の回復を目指します。また、令和4年度に初めて実施した「朝のコンサート」を継続する等、小ホール等を活用した小規模事業についても、安定的な参加者の確保を目指します。
コロナ禍の影響により減少してしまった利用の回復を目指し、コミュニティ施設としての賑わいを取り戻してまいります。また、様々な状況に対応し安心できる施設の提供を継続してまいります。

■ 事業概要

(6) 文化の創造及び推進・(7) 文化活動の協働及び創造性を育む機会の提供【公益目的事業】

ア 鑑賞事業

本物の芸術文化に触れる「感動」の場として、個性的で質の高い事業の提供を目指し取り組んでいます。大ホールにて開催する「古澤巖ヴァイオリンの夜」や「ファミリーコンサート」、小ホールのスケール感を活かした「ジャズ・ピアノライブ」や「朝のコンサート」等、施設の特徴を活かしつつ、各世代に向けた、大泉ならではのプログラムを企画しています。

特に令和5年度は、文化むらの看板事業となっている「古澤巖ヴァイオリンの夜」の特別企画として、人気俳優・山本耕史を迎えての「ダンディズム・バンケット」を実施し、新たなファン層の拡大を目指します。

また、初の企画として令和4年度に実施した「朝のコンサート」について、来場者から相応の手応えを得る事ができた為、令和5年度についても継続し、リピーターの確保を目指します。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	6月	ジャズ・ピアノ ライブ	10年以上続いた川島潤一氏のジャズ・シリーズ終了を受け、新規のアーティストによるジャズライブを企画。
2	1月	文化むら ファミリー・コンサート	町立各児童館の保護者組織である“母親クラブ”を母体とする“地域活動連絡協議会”との共催にて実施する、ファミリー向け事業。
3	2月	古澤巖ヴァイオリンの夜 in 文化むら 特別企画 ダンディズム・バンケット	ヴァイオリニスト古澤巖が俳優・山本耕史とともに現在取り組んでいるコンサートと演劇のクロスオーバー企画を「ヴァイオリンの夜特別企画」として実施。これにより例年2公演実施している通常の「ヴァイオリンの夜」は休止とする。

4	未定	朝のコンサート（全3回）	本町出身のピアニスト・志村和音氏のプロデュースによる、朝の時間帯を活用した新スタイルのコンサート。令和4年度に初開催したところ好評だった為、継続事業として取り組む。
---	----	--------------	--

イ 参加事業

利用者も含めた多くの町民が参加できる「ふれあい」の場として企画し、同時に交流を深め、相互の文化活動が励起し合うような相乗効果の活性化を図っています。地域住民が計画的に参加できるよう、継続的に取り組む事業が中心となります。コロナの感染終息が見通せない中、令和3年度から4年度にかけて「規模の縮小」「無観客」「動画配信」「観客数の制限」といった様々な対策を講じながら徐々に再開に向け取り組んで来ましたが、令和5年度ではできるだけコロナ以前の状況に戻し、多くの参加者の確保を目的として再活性化に向けた計画を検討します。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	9月	文化むらダンス・フェスタ 2023	「一般」と「キッズ」のダンス・フェスタを統合し「文化むらダンス・フェスタ」として1日間で開催する。普段の練習の成果を、本格的な音響・照明のステージで披露してもらう。

【振興事業（補助金事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
2	5月	第15回 文化むらピアノマラソン	文化むらが備える「スタインウェイ」「ベーゼンドルファー」「チェンバロ」を大ホールステージで演奏する機会を提供し、楽器と施設により一層親しんでもらう事を目的に開催する。コロナ前と同様の2日間連続開催を目指す。感染状況によっては規模を縮小したコロナ版での開催も選択肢に残す。
3	11月	第27回大泉町合唱祭	町内を拠点に活動する合唱サークル、高校・専修学校の学生、町内中学校の校内合唱コンクール最優秀クラス、小学生のグループなど幅広い年齢層による演奏会。
4	未定	うたごえ喫茶・新宿ともしび 出前コンサート	かつての“うたごえ喫茶”の中心的存在であった「喫茶ともしび」のスタッフが、専用の「歌集」を携えて全国にうたごえコンサートを出前する企画。シニア世代に流行したヒット曲を中心に、ステージと客席が一体となって歌を楽しむ空間を提供する。

ウ 創造育成事業

教室事業や「独創性の高いオリジナル事業」の制作に、文化団体や演奏家、利用団体などと協働で取り組む「創造」の場を提供することにより、地域文化の発展と文化振興を担う人材の育成に取り組んでいます。特に、文化むらならではの事業として人気の高い「初心者ヴァイオリン合奏教室」は、本来大人向けと子供向けを隔年で開催のところ、コロナの感染収束が不透明な中スケジュールが不安定となる恐れを踏まえ、緊急対応し易い大人向けを4年ほど継続していましたが、令和5年度では、5年ぶりとなる子ども向けの再開を目指します。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	4月～3月	子どものための初心者ヴァイオリン合奏教室（全44回）	小学3年生～中学3年生を対象とした初心者向けの教室。個人ではなくグループでのレッスン形式とし、希望者には期間中楽器を無償貸与する等、とかく敷居が高いイメージのヴァイオリンを多くの地域住民に体験してもらえる機会を提供する。
2	5月	第15回群馬県東部地区吹奏楽連盟 ソロコンテスト 共催：群馬県東部地区吹奏楽連盟	県東部地区の学生や一般を対象に、ソロ演奏の技術を競いながら相互交流と吹奏楽の普及振興を図る。上位入賞者は県吹奏楽連盟主催の県大会に推薦される。
3	3月	邑楽館林吹奏楽連盟 第36回新人演奏会 共催：邑楽館林吹奏楽連盟	邑楽館林地区の中学・高校の吹奏楽部員1～2年生による合同の演奏会。相互の演奏に触れることにより、活動の一層の活性化を目指す。一般の吹奏楽団も参加して開催される。
4	未定	講座事業	コロナ禍で開催を見合わせていた講座型の事業を企画する。具体的な内容については地域のニーズ、講師の人材確保、日程等の要素を勘案して検討する。

【振興事業（補助金事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
5	12月	クリスマス・ウインド・フェスティバル	大ホールを会場に、町内3中学校の吹奏楽部による合同の演奏会を開催する。コロナ禍により3年間開催が見送られていたが、停滞した部活動の活性化を目的に再開を目指す。
6	未定	群響楽器セミナー 共催：(公財)群馬交響楽団	町内3中学校の吹奏楽部員を対象に、群馬交響楽団員が直接楽器演奏の指導を行うセミナー。プロの指導により演奏技術の向上を図る。講師派遣に係る経費については群響側の負担で開催できる。

エ アウトリーチ・その他事業

施設内の活動にとどまらず、文化むら等の施設に足を運ぶことが困難な方々や機会がなかなか持てない方々のところへ出向き、質の高い芸術文化鑑賞の機会の提供に取り組んでいます。また、県内施設においても「避難訓練コンサート」への取り組みをいち早く開始し、数百人単位の対象者を効率的に避難させるノウハウの構築に取り組んでいます。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	未定	文化むら避難訓練コンサート	職員のみで行っている法定の消火・避難誘導訓練に対し、実際の公演において、多くの観客を安全に誘導する為のスキルを定着させる事を目的に、本番のコンサートに会場した一般客に協力を求めながら実施する訓練。

【振興事業（補助金事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
2	未 定	訪問コンサート	文化むら以外の場所にアーティストを派遣し、広く地域住民に芸術活動を体験してもらう機会を提供する出張・訪問型事業。

(8) 文化の情報等の収集及び提供 【公益目的事業】

ア 広報誌「フレッシュおおいずみ」の発行

【振興事業（補助金事業）】

地域文化活動の活性化を目的とし、地域における各種文化活動に関する情報の告知等を行う広報紙「フレッシュおおいずみ（町内全世帯及び関係機関、団体に配布）」を隔月刊（奇数月）にて発行します。

ホームページやSNSとの連携により、より現代の情報環境に適した情報発信システムの確立に努めます。

- 発行部数：町内全世帯及び関係機関、団体に配布＝16,500部／月



イ ホームページの運営

【指定管理事業】

感染が拡大する中、従来のチラシ等「紙媒体」を使ったPRが困難な状況が続き、各種情報の提供はホームページ等の電子データ化が大きく進みました。

従来の文書や写真による宣伝に加え、動画や音楽ファイルを素材として活用する事ができる点を活用し、紙媒体をはるかに凌ぐ情報量を効果的に発信する事が可能となっています。

また、公式ツイッターやメールマガジン等を活用したタイムリーかつ能動的な情報発信、QRコードを活用した紙媒体との連携や、YouTubeの文化むら公式チャンネルを通じての動画配信等、それぞれの長所を活かした多層的な情報発信に努めています。

- 事業団ホームページURL = <https://www.bunkamura.or.jp/>



(9) 文化活動の支援【公益目的事業】

ア 振興発展のための後援事業

【振興事業（補助金事業）】

- ・地域の文化事業の後援を行い、優勝メダルの提供や事業の告知などを行います。

イ 大泉町・地域文化事業等の協力

- ・地域の文化事業（文化協会主催事業・地域公民館連絡協議会主催事業・公民館利用サークル連絡協議会主催事業等）の開催協力（舞台照明・音響の制作やオペレート等）を行います。
- ・地域の文化活動に必要な各種物品（ポータブルアンプ、無線機等）の貸出を行います。

（10）文化団体の助成及び育成 【公益目的事業】

ア コンクール等参加に対する助成

【振興事業（補助金事業）】

大会等出場援助要綱により、大会に出場する個人・団体に助成金を支出し、経費負担の軽減を図ります。

イ 文化団体育成・強化指定

【振興事業（補助金事業）】

文化団体育成指定要綱により助成金を支出し、文化の振興、育成に積極的に取り組み、向上・発展に貢献できる団体を育成します。また、文化団体強化指定要綱により助成金を支出し、文化の向上・発展に貢献したと認められる団体の更なる強化を図ります。

ウ 文化事業支援

【振興事業（補助金事業）】

文化事業支援要綱により助成金を支出し、町民を対象に文化事業を実施する団体を支援します。

（11）文化活動拠点の運営 【公益目的事業／収益事業】

【指定管理事業】

ア 概要及び具体的な取り組み等

町有文化施設指定管理等事業として、洋泉興業大泉町文化むらの管理業務を行います。

● 施設管理運営方針

- ・新型コロナウイルスの影響により利用を控えていた町内各種団体に呼びかけを行うなど、利用者数回復を目指します。
- ・令和4年度に導入した PayPay に引き続き、スピーディーな決済による利用者サービスの向上を目的としたキャッシュレスシステム強化を検討します。
- ・大泉町の「あらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例」を推進し、すべてのお客さまに「平等、公平」の確保に努め、ユニバーサルサービスを意識した「温もりを感じられる」施設運営に努めます。

● 安全対策について

施設の安全、安心を最優先にした管理運営を行い、万一事故、災害等が発生した場合でも、利用者の安全を第一に考えたマニュアル作成、備蓄品の管理を行います。また、様々なリスクが発生した際にも、迅速に対処するための研修を実施します。

法人運営

【補助金事業】

ア 理事会・評議員会

公益法人として社会からの信頼に応えるため、理事会、評議員会などの各機関の役割や責任を果たし、ガバナンスの確保や体制づくり、法人運営や事業の透明性、コンプライアンスに対して積極的に取り組み、新公益制度改革の目的とされている「自己責任」と「自主・自律性」に基づいた運営を行ってまいります。

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	5月 2日 (火)	監査会	令和4年度監査
2	5月10日 (水)	定時理事会	令和4年度事業報告及び会計決算
3	5月25日 (木)	定時評議員会	令和4年度事業報告及び会計決算 理事・評議員・監事の選任
4	5月25日 (木)	理事会	理事長・常務理事の選定、会長の選任
5	11月15日 (水)	理事会	未 定
6	2月 7日 (水)	理事会	令和6年度事業計画及び会計予算
7	2月15日 (木)	評議員会	令和6年度事業計画及び会計予算

イ 人材マネジメント

令和5年度は「事業団人事ポリシー」を定め、中期的に進めてきた人材育成プログラムを明確化いたします。スポーツ・文化の専門組織として実践力のあるプロを育成し、多角的・多様性に対応できる「理」と「情」を知る人材マネジメントを遂行してまいります。その一環として令和4年度は人事評価制度の見直しを行い、一部改正をしました。また、研修や資格取得も、長らく新型コロナウイルス感染症の影響を受けていましたが、令和4年度からは順調に進みはじめたため、資格取得を含め、OFF-JT等各種研修、また、オンラインセミナーや内部研修も計画的に進めてまいります。

NO	研 修 名	予 定 月	内 容
1	接客研修	1月	ビジネスマナー、クレーム対応など
2	軽スポーツ講習会	4月	新たな軽スポーツを体験し、事業展開に生かす
3	人権研修	10月	町ぐるみ人権教育推進大会
4	エンバーサルサービス研修	2月	意識と知識を養い業務運営に生かす
5	PDCA 研修	3月	業務運営の中核となるPDCAサイクルを学ぶ
6	CSR 教育研修	8月/3月	コンプライアンスと環境啓発を学ぶ
7	自主事業研修 プログラム研修	年1回 時期未定	事業担当者育成の専門セミナー
8	舞台技術/ 貸館業務研修	年1回 時期未定	舞台、管理担当者の専門セミナー
9	協働のまちづくり 関係研修	年1回 時期未定	大泉町主催の協働まちづくりセミナー

10	責任者研修 マネジメント研修	年4回	責任者としての資質向上、組織・戦略・財務管理などの マネジメントを学ぶ
----	-------------------	-----	--

● その他の研修・資格取得等

- ① 階層別研修(新人・係長・課長)
- ② 経営に関する研修(経営戦略、組織変革に向けたリーダーシップ、人材育成)
- ③ 総務関係(公益会計基準、労務、公社債など)
- ④ スポーツ関係(スポーツ施設管理士、スポーツ指導、防災士資格など)
- ⑤ 文化関係(公文協主催アートマネジメント、技術研修、防災士資格など)

ウ 環境整備

果実を大きくするためには、ぐらつかない強く栄養豊富な木が必要です。そのためには土の中に太くしっかりした根を張り巡らせなければなりません。同様に地域に根差す当事業団がしっかりと根を張らすために、きめ細かな環境を整える必要があります。お客様に満足していただくという、果実を大きく成熟させるために物的環境整備、人的環境整備、情報環境整備の取り組みを行います。

NO	項目	予定月	内容など
1	ミッション経営 の実施	通年	毎日の朝礼にて「基本理念」、「経営理念」や「行動指針」を全員で読上げることにより、職員一人ひとりの肚に「使命感」を落とし込み、理念に基づいた経営を目指す。
2	働き方改革	12月/3月	片づけチェック実施(効率的事務の推進)やOJTにて学ぶことで、業務の効率化を図る。
3	個別面接	6月/11月	人事評価システムを通じ、上司と部下のコミュニケーションを図り、士気高揚、活力を生み出し、風通しのよい職場づくりを目的に行う。
4	リスクマネジメント 勉強会 ～組織的な危機管理～	9月	施設管理や振興事業を遂行する上でリスクは付きものです。顕在化する前に回避または、被害が最小限に抑えられるように、また、組織的に管理するための勉強会として実施。
5	安全研修	4月/6月/9月/2月	町民体育館・文化むら施設ごとに実施し有事に備える。【避難誘導、消火、参集、AED取扱訓練】
6	個人情報保護 情報セキュリティ研修	8月/1月	法令遵守を基本に個人情報取扱いの認識を高める。

エ 財務管理

公益法人として求められる経理的基礎の充実に向け、基礎能力の底上げに取り組んでまいります。事業計画、予算の進捗管理、決算の経営分析による経営の安定化を図ってまいります。

最近ではオンラインによる研修が増え、手軽に受講できますので、若手職員を中心に公益会計や経理、また、経営に関する研修など、財務に関する様々な知識の習得に努めてまいります。

NO	項目	予定月	内容など
1	経理基礎研修	4月	若手職員を対象に財務諸表、複式簿記、会計システム操作方法、収支計算書についてOJTにて実施。
2	公益法人会計・簿記・経理セミナー	未定(適宜)	会計システム業者主催等のセミナー参加によって、若手職員は基礎的な簿記や経理を学ぶ。また、ベテラン職員は公益法人会計をより理解できるようにより深く学び法人運営に活かす。
3	公社債運用セミナー	未定	公社債基礎研修などに参加することによって、事業団が保有する基本財産の運用、債券や預金について学び法人運営に活かす。
4	次年度事業計画及び予算作成	7月～10月	7月、8月振興事業、施設管理担当者とヒアリング 9月、10月中身を精査し最終調整
5	予算・振興事業の進捗管理	毎月	月次試算表や事業評価シートによる進捗管理及び経営分析